

豊かな森づくりと魅力ある林業の構築をめざして

平成 26 年度版 「富山県森林・林業白書」

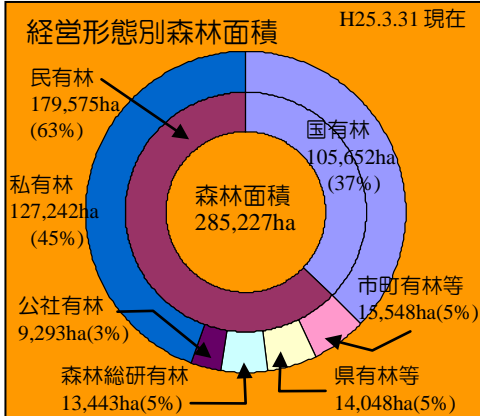


海の関係者と協働による植樹活動〔滑川市東福寺〕

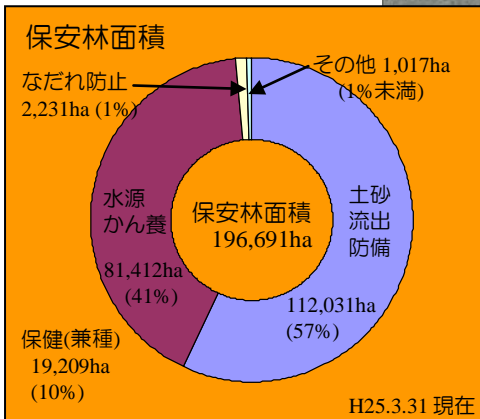


中間土場から運搬されるスギ間伐材〔南砺市利賀村上百瀬〕

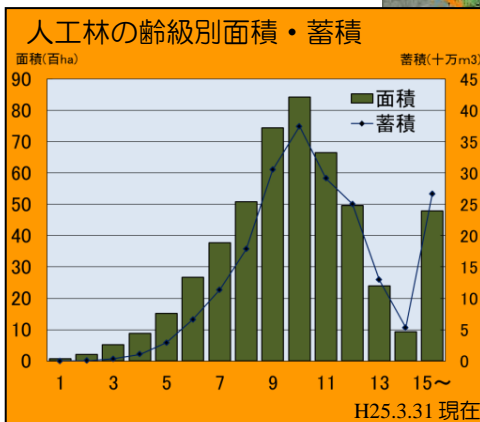
I 富山県の森林・林業の姿



本県の森林面積は約 285 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めています。森林率は全国とほぼ同じ率となっています。



森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林を目的によって保安林に指定しています。保安林率は 69.0% で全国都道府県で最も高くなっています。

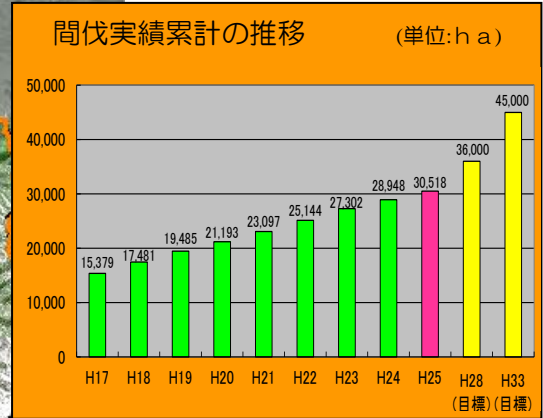


県内の人工林は、木材として利用可能な 9 齢級以上の森林が、全体の約 7 割を占め、蓄積では約 8 割となっています。

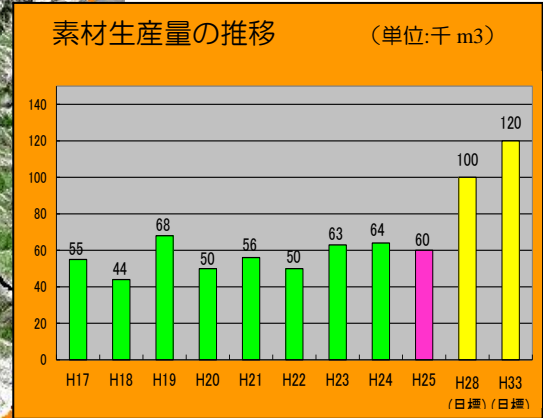


目次

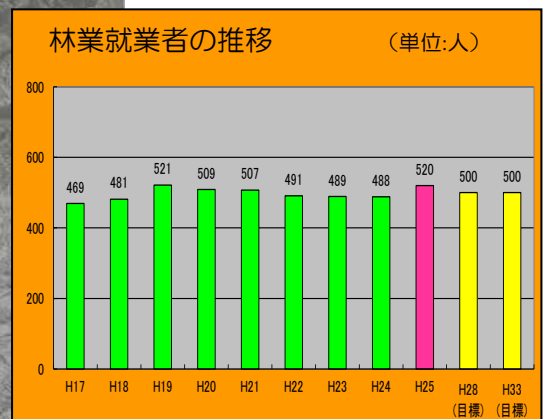
- I 富山県森林・林業の姿…………… 1
- II 富山県森林・林業振興計画〔改訂版〕の概要…………… 3
- III 計画実現のため、平成 25 年度に講じた主な取組み…………… 5
 - 1 豊かな森づくりに向けた主な施策
 - 2 魅力ある林業の構築に向けた主な施策
- IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と平成 25 年度実績…………… 14
- V 平成 25 年度の森林・林業に関する主な出来事…………… 15



二酸化炭素の吸収源対策としても重要な役割を持つ間伐整備を毎年 2,000ha 前後実施しています。



県産材の生産は、スギが中心となっており、木造公共施設等の整備や県産材を使った住宅建設等の支援を行っています。

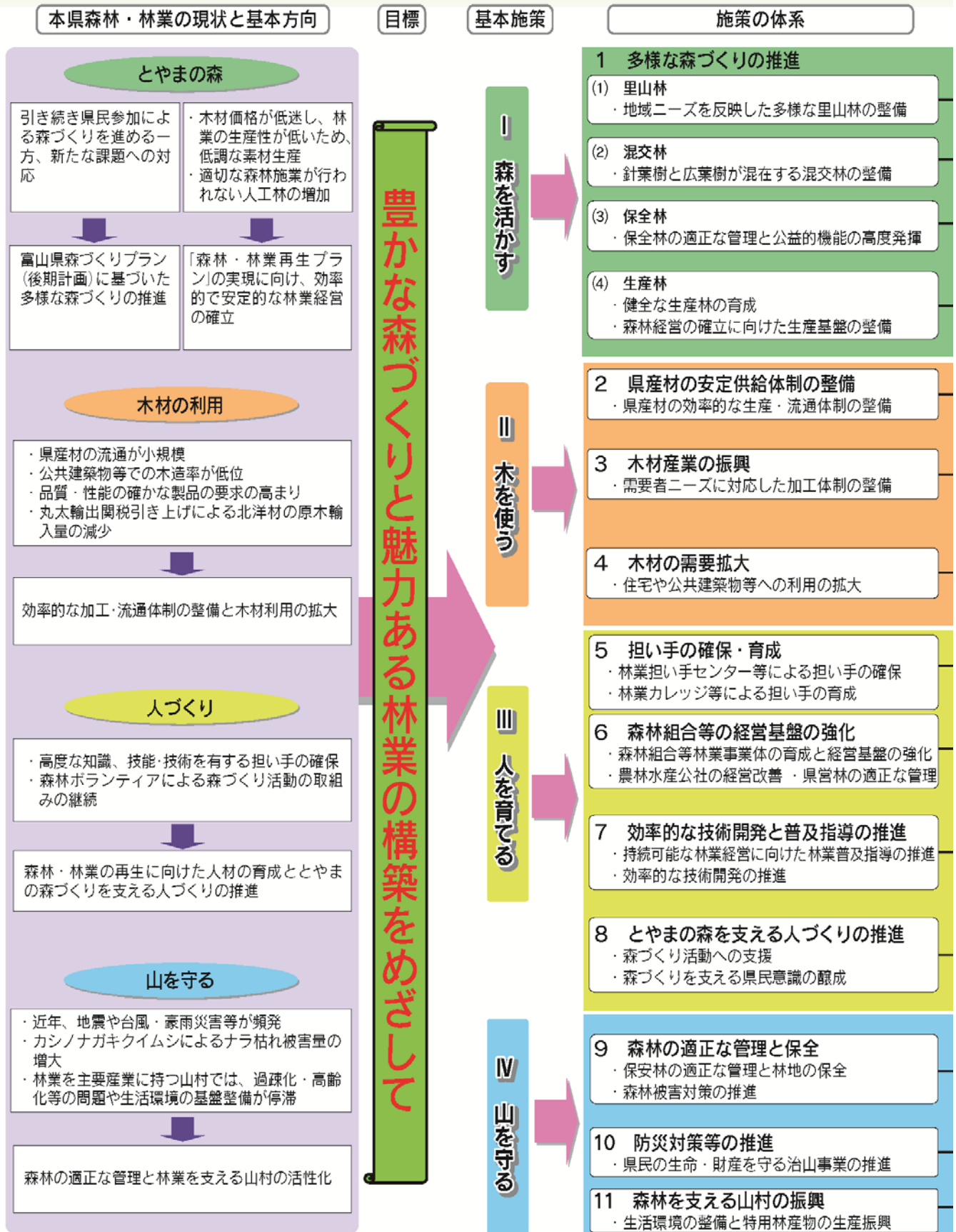


林業就業者は減少からほぼ横ばいで推移していますが、平均年齢(森林組合)は60歳(H5)から48歳(H25)と若返っています。

II 富山県森林・林業振興計画 [改訂版] の概要

改訂の趣旨

- ・上位計画である「新・元気とやま創造計画」が平成24年4月、新たに策定されたこと
 - ・富山県森づくりプランが策定から5年経過し、とやまの森をめぐる状況の変化に対応した取組みが必要になったこと
 - ・国では「森林・林業再生プラン」が策定され、その実現に向けた取組みが進められていること
- など、社会情勢の変化、国の施策の動きなどに的確に対応するため、現行の「富山県森林・林業振興計画」を平成24年11月に改訂しました。



- ・本計画の位置付け
「新・元氣とやま創造計画」の森林・林業・木材産業分野に関する計画として、県森林・林業行政の基本指針になります。
- ・計画期間：平成 24 年度～平成 33 年度
- ・目標年次：平成 33 年度(中間目標 平成 28 年度)

主な取組内容

主な参考指標 H23 ⇒ H33

- 県民協働による里山林の整備の推進
- 地域住民による里山林の維持管理活動の継続への支援
- 過密人工林や風雪被害林の整備
- 竹林が侵入した人工林の整備
- 公益的機能の高度発揮が必要な山地の保全対策
- カシノナガキウムシ被害跡地の復旧
- 森林経営計画の策定支援と施業集約化の推進
- 森林整備に必要な森林境界の明確化
- 伐採後の森林の適正な更新と花粉発生源対策
- 林道等の路網整備(林道、林業専用道、森林作業道)

- ◎ 里山林の整備面積(累計)
1,296ha ⇒ 3,900ha
- ◎ 混交林の整備面積(累計)
693ha ⇒ 2,100ha
- ◎ 実のなる木の植栽面積(累計)
- ⇒ 100ha
- ◎ 間伐実施面積(累計)
27,302ha ⇒ 45,000ha
- ◎ 優良無花粉スギ植栽面積(累計)
- ⇒ 120ha
- ◎ 林内路網密度
28.7m/ha ⇒ 36.8m/ha

- 高性能林業機械の活用による低コスト生産の推進
- 原木流通の低コスト化・効率化の推進
- 品質・性能の確かな製品生産体制の支援など木材産業の体質強化
- 新たな製品開発や安全な住宅づくりの促進
- 川上と川下の関係者が連携して取組む家づくりへの支援
- 県産材を使った住宅の建設や公共建築物等の木造化・内装木質化の促進
- 木育や県産材遊具の設置等による木材利用の普及啓発
- 木質バイオマスの技術開発とエネルギー利用の促進

- ◎ 県産材素材生産量
63千m³ ⇒ 120千m³
- ◎ 製材品出荷量に占める人工乾燥材の割合
41% ⇒ 50%
- ◎ 公共建築物等の木造率
12% ⇒ 25%

- 林業就業者の人材確保と定着
- 効率的な素材生産等を担う技能者の育成
- 森林組合の経営基盤の強化と民間事業体の育成
- 農林水産公社の伐採収入の増大や金利負担の低減等による経営改善
- 県営林の造成や伐採による適正な経営
- 森林・林業に関する技術・知識の普及・指導
- 低コストで安定的な県産材の供給体制を推進する能力を備えた人材の育成
- 森林・林業再生に向けた技術の開発
- 森林ボランティアの活動への支援
- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア団体や企業等への活動の参加支援
- 県民が植樹・育樹活動等に参加する機会の提供

- ◎ 林業就業者
489人 ⇒ 500人
- ◎ 認定森林施業プランナー数(累計)
- ⇒ 24人
- ◎ 素材生産を担う現場技能者数(累計)
6人 ⇒ 90人
- ◎ 認定事業体のうち民間事業体数
3事業体 ⇒ 10事業体
- ◎ 研究の実用化件数(累計)
11件 ⇒ 30件
- ◎ 県民参加による森づくりの年間参加延べ人数
10,775人 ⇒ 13,000人

- 保安林の適正な管理と水源地域の林地の保全
- 森林病害虫に対する適切な防除の実施と被害跡地の健全な森林への誘導
- 気象災害等の予防と復旧
- 山地災害危険地区の各種災害防止対策の推進
- 災害危険箇所情報の提供
- 生活道路として活用される林道の整備
- 特用林産物生産施設整備の支援や生産指導

- ◎ 保安林指定面積(累計)
92,072ha ⇒ 93,200ha
- ◎ 山地災害危険地区着手数(累計)
1,358箇所 ⇒ 1,419箇所
- ◎ 海岸防災林整備延長
5,028m ⇒ 6,700m
- ◎ 年間きのこ生産量
3,435t ⇒ 4,150t

Ⅲ 計画実現のため、平成 25 年度に講じた主な取組み

1 豊かな森づくりに向けた主な施策

「森を活かす」ー県民参加による「多様な森づくり」の推進ー

- 「里山林」や「混交林」などの整備や、優良無花粉スギの普及・拡大や実のなる木の植栽の推進については、県民参加による森づくりの観点から、水と緑の森づくり税を活用し進めることとします。
 - ・ 「里山林」は「里山再生整備事業」により、地域住民等との協働により整備を進めます。
 - ・ 「混交林」は「みどりの森再生事業」により整備を進めます。
 - ・ 「実のなる木の植栽」については、カシノナガキクイムシ被害地の復旧が森林の持つ水土保持機能など公益的機能の確保につながることから、県民参加の森づくりで進めます。
 - ・ 「優良無花粉スギ〔立山 森の輝き〕」については、苗木価格が割高であるなど採算が合わないことから、モデル的に普及推進を図ります。
- 「森づくりを支える県民意識の醸成」については、水と緑の森づくり税を活用し、フォレストリーダーが指導する「森の寺子屋」（出前講座や森林教室）を開催します。

[平成 25 年度に講じた施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した「里山林」の整備
- ① 市町村、地域の皆さんとともに、集落周辺の里山の広葉樹林や竹林などを整備しました。

【実績】

- ・ 里山林整備に取り組んだ1～3年目の地区
75地区（12市町）593ha、地域住民等の参加人数 1,252人
- ・ 4年目以降の地区
87地区（12市町）798ha、地域住民等の参加人数 3,718人

- ◎ 整備事例：竹林の整備（氷見市万尾その2地区）

〈整備前〉

〈整備中〉

〈整備後〉



地域住民が参加した里山林でのタケノコ堀
高岡市伏木一宮地区



- ② 主要道路沿線などで、カシノナガキクイムシ等の被害を受けた枯損木を除去しました。

【実績】

- ・ 26地区（12市町）1,754㎡

- ③ 里山の適切な管理を進めるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に里山管理の継続方法や竹林の新たな利用方法の研修等を行いました。

【実績】

- ・ とやまの竹資源ネットワークの活動
平成26年3月末現在 136団体参加
竹材回収車（かぐや竹舟号）の運行案内、調整
講習会開催等
- ・ かぐや姫の里の集いの開催
竹林の安全な整備のための技術講習、実習、竹材の利用の研修等、10月26日 120名参加
- ・ 里山リーダーセミナーの開催 県内各地5回

かぐや姫の里の集い 技術講習状況



- 水と緑の森づくり税を活用した「混交林」の整備
風雪被害を受けた人工林や、手入れ不足で過密となった人工林などをスギと広葉樹の混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】・風雪被害林整理 10.3ha 2地区（2市）
 ・過密人工林整理 99.8ha 12地区（8市町）
 ・侵入竹林整理 38.0ha 11地区（11市町） 合計 148.1ha

- ◎ 整備事例：侵入竹林の整理（魚津市金山谷 地内）



- 水と緑の森づくり税を活用した実のなる木の植栽
カシノナガキクイムシにより被害を受け、ナラ類が集団で枯損した奥山において、ミズナラやコナラなどの実のなる木を植栽しました。

【実績】・8地区（5市町） 14,200本

- 水と緑の森づくり税を活用した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及推進
スギ人工林の伐採跡地への優良無花粉スギの植栽を支援しました。

【実績】・富山市、高岡市、氷見市、小矢部市、南砺市の5箇所 1.9ha（3,800本）

- 森づくりを支える県民意識の醸成

・「県民参加の森づくりフェア」ととやま森の祭典と併せて開催し、森づくりの実績や森づくりに関連が深い豊かな海づくりの取組み等を広く県民の皆さんに紹介しました。

5月24日 滑川市柳原「滑川市スポーツ・健康の森公園」で開催 約2,000人参加（森の祭典）

・小中学校等への森林環境教育を推進するため、フォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。

【実績】・「森の寺子屋」の開催 114回



[平成26年度に講じる施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した里山林と混交林の整備
 - ① 地域住民との協働による里山林の整備、風雪被害林や過密人工林、さらには竹林が侵入した人工林などをスギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を進めます。
 - ② カシノナガキクイムシ被害跡地への実のなる木の植栽や、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽・保育に支援します。
 - ③ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を増産・PRするための展示選抜林を造成するとともに首都圏での植樹活動を実施します。
- 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進
県フォレストリーダーが指導者となって、森林環境教育の推進を図ります。
- 第68回全国植樹祭の開催に向けた取組み
実行委員会を設置し、基本計画の策定など開催準備を進めるとともに、県民協働で記念植樹用の苗木育成に取り組むなど県民参加による健全な森づくりを一層推進します。

「木を使う」ー県民による県産材の有効利用の促進ー

- とやまの森づくりにつながる県産材の有効利用を県民とともに進めるため、「県産材アドバイザー」の活動支援など従来からの取組みに加え、県産材住宅への助成など、県産材を利用した住宅建設の促進に取り組みます。
- 県産材を使った公共施設の木造化や内装木質化、備品や遊具の導入に対し支援し、県産材の積極的なPRに努めます。

[平成 25 年度に講じた施策]

- とやまの木で家づくり支援事業
県産材を活用した住宅の新築・増改築に対して助成しました。(補助単価 5 千円/m³~2 万円/m³)
【実績】・助成棟数 52 棟
- 公共施設等への県産材の利用促進
とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った公共施設の木造化、内装木質化や備品の導入を支援したほか、県産材の遊具や学習机等の導入など、子どもたちに木の良さを感じてもらい、豊かな心を育む「木育」の推進を図りました。
【実績】・地域材活用施設整備
公共施設の木造化、内装木質化 5 施設
・公共建築物等県産材利用促進モデル事業
公共施設の内装木質化、備品導入 5 施設
・県産材こどもの城づくり事業
屋外遊具の製作・設置 2 施設
・特別支援学校用机・椅子の配布
10 施設 (机 18 台、いす 25 台)
・県産材遊具の導入支援 3 施設
・とやま県産材遊具貸出 33 回
- 「住まい博 富山 130」(テクノホール) への出展
県民に木の良さや木造住宅の安全性などについて理解を深めてもらうことを目的に各種展示等を行いました。
【実績】・木材研究所開発製品の展示
・とんかち大将コンクール表彰式及び作品展示
・木工体験教室等の開催

支援事業を活用した県産材住宅



公共施設の木造化



県産材遊具の導入支援



[平成 26 年度に講じる施策]

- 県産材を利用した住宅建設の促進
県産材を使用した住宅の新築又は増改築に助成します。
- 木造公共建築物等の推進
県産材を使った木造公共施設の整備等に対し助成します。
- 水と緑の森づくり税の活用などによる県産材の普及啓発
県産材屋外遊具の設置や県産材遊具の導入支援などにより、木を身近に使うことで、人と木と森との関係を積極的に考えられる豊かな心を育む『木育』を推進します。
住宅、家具、建具など木材利用を一体的にPRするイベントを開催します。
- 全国植樹祭等のイベント用県産材製品(ベンチ・プランターカバー)の開発

「人を育てる」ー森林ボランティア活動への支援ー

- とやまの森づくりサポートセンターを通じたボランティア団体や企業による森づくり活動を支援します。
- 「とやまの森づくり総合情報システム」を活用し、とやまの森の現状や、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を県民にPRすることで、県民参加による森づくり活動の裾野拡大を進めます。

[平成 25 年度に講じた施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援
 - ・ ボランティア団体等と森林所有者との橋渡し
 - ・ 登録会員のPR パネルの作成・展示
 - ・ 情報提供や新規団体等の相談窓口の設置
 - ・ 安全機器や林業用具の貸出、保険料の支援
 - ・ 技術研修（森づくり塾）の開催
 - ・ 登録団体の交流支援など
- 【実績】
 - ・ 平成 26 年 3 月末現在登録団体等
99 団体（4,052 人、内個人 43 人）、50 企業
- 混交林の整備などに必要な県産広葉樹苗を県民の皆さんとともに育てる「みどりの里親事業」を実施し、企業の森づくり活動など幅広い植樹活動に使用しました。
- 【実績】
 - ・ ブナ、ミズナラなどの広葉樹苗 2 万本を育成
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
とやまの森づくりホームページにより、「水と緑の森づくり事業」の実施状況を情報発信しました。
- 【実績】
 - ・ とやまの森づくりホームページで公開した情報
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>
アクセス件数 52,000 件(平成26年3月31日現在)

伐採木竹を処理するチップパー機の貸出し



技術研修（森づくり塾）の開催



企業の森づくり活動（県産広葉樹苗の植栽）



[平成 26 年度に講じる施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動へのさらなる支援
登録ボランティア団体の自主的な安全講習会開催への支援など引き続き活動強化を進めます。
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
とやまの森づくりホームページを通じて、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を提供します。

2 魅力ある林業の構築に向けた主な施策

「森を活かす」ー持続可能な林業経営の推進ー

- 間伐材等の県産材を利用することにより、森林整備に必要な資金を森林所有者に還元し、“植える（植栽）→育てる（保育）→収穫する（伐採）”という「循環する森づくり」を進め、森林整備を促進します。

- ① 施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進
- ② 低コスト作業路網の整備や、高性能林業機械の導入支援

[平成 25 年度に講じた施策]

- 富山県森林整備・林業再生基金の活用

富山県森林整備・林業再生基金（H21 年 6 月設置）を活用し、川上では、施業集約化団地での間伐や作業路網、高性能林業機械の整備により持続可能な林業経営を推進するとともに、川下では、木材加工流通施設の整備や公共施設の内装木質化、地域材利用開発など、県産材の利用促進に重点的に取り組んでいます。

平成 25 年度補正で、新たに約 11 億円の基金を積み増して、平成 26 年度まで基金事業に取り組みます。

- 施業集約化による木材生産の促進

施業の集約化を進めるためには森林所有者の特定や境界の明確化が前提となることから、境界や所有者が不明で整備が進まない森林において、森林境界の明確化作業に対して支援しました。

【実績】

- ・ 施業集約化団地数…………… 27 箇所
- ・ 森林境界明確化面積…………… 435 ha

- 作業路網及び高性能林業機械の整備

- ・ 県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、素材生産等施業を効率的に行うためのネットワークとなる作業道の整備に支援しました。

【実績】

- ・ 森林作業道開設…………… 123 km

- ・ 県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、効率的に伐採等作業を進めるため、高性能林業機械の導入に支援しました。

- ・ ハーベスタ 1 台 ・ グラップル付バックホウ 1 台
- ・ フォワーダ 3 台 ・ ウィンチ付グラップル 1 台
- ・ グラップル付トラック 1 台

森林所有者等による森林境界明確化作業



最新の林業機械による作業道作設状況



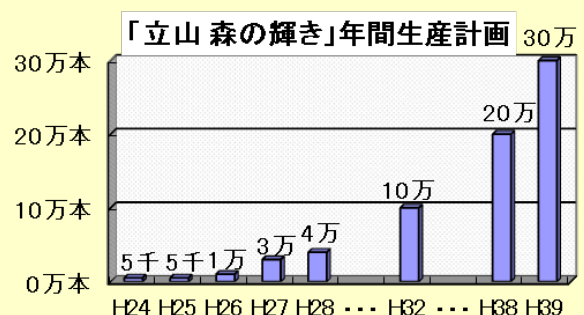
トピックス

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及拡大

花粉症対策の一環として、本県で開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を図るため、スギ花粉飛散に強い影響を及ぼしている人工林の伐採跡地での植栽等を進めます。

具体的には、

- ① 「立山 森の輝き」の植栽、初期保育を支援
- ② 「立山 森の輝き」の種子による大量生産
- ③ 「立山 森の輝き」を増産・PR するため、展示選抜林の造成や首都圏での植樹活動などに取り組めます。



- 地球温暖化防止に貢献する森林整備の推進
スギ人工林の間伐や広葉樹林の整備など、二酸化炭素の森林吸収を促進する森林整備を進めました。

【実績】

・ 造林事業	827 ha
・ 治山事業	129 ha
・ 水と緑の森づくり事業	347 ha
・ 県単独森林整備事業等	71 ha
・ 森林吸収源対策モデル事業	66 ha
・ その他（森林総研造林等）	377 ha
計	1,817 ha

間伐を実施したスギ人工林



[平成 26 年度に講じる施策]

- 施業集約化による木材生産の促進
森林境界明確化作業など施業集約化への支援を実施し、取り組みの拡大を進めます。
- 作業路網及び高性能林業機械の整備
施業集約化に取り組む地域での作業路網や高性能林業機械の整備を重点的に支援し、林業の生産性向上を目指します。
- 間伐等森林整備の推進
二酸化炭素の森林吸収を促進するため、引き続き、間伐を中心とした森林整備を推進します。
- 森林資源の有効利用
高齢級の人工林の主伐において、放置される低質材の集材経費を支援し、森林資源の適切な利用の促進を図ります。

「木を使う」ー県産材の安定供給体制の整備ー

- 県産材の安定的供給体制の構築を図るため、流通コストの低減と県産材の利用拡大を目指した体制づくりを進めます。
- 新たな流通システムの構築のため、出材者から製材工場関係者間で合意形成を図ります。

[平成 25 年度に講じた施策]

- 県産材の流通体制の整備
- ① 「富山県森林整備・林業再生基金」を推進する協議会の中で、出材者と製材関係者との県産材安定供給の締結に向けた具体的な協議を進めました。
協定が締結されたもののうち、新たな木材加工施設整備が必要な施設については、「森林整備・林業再生基金」を活用して支援しました。

【実績】

- ・ 木材加工流通施設整備 1 箇所
- ・ 間伐材の流通経費支援 1 件
- ② 緊急雇用対策の支援制度を活用し、県産材の活用促進のため、木製品業者が実施する展示会の開催支援や、セミナーによる情報提供、木質バイオマス利活用調査等を実施しました。

【実績】

- ・ 「とやまの木せいひん展示会」の開催支援
- ・ 木質バイオマス利活用調査の実施

再生基金により整備した木材加工施設



[平成 26 年度に講じる施策]

- 流通の低コスト化と木質バイオマス利用施設整備への支援
 - ・ 安定取引協定の締結などによる出材者と製材関係者との連携と合意形成を進めます。
 - ・ 木材加工流通施設整備を支援し、取り組みの拡大を進めます。
 - ・ 木質バイオマス発電施設等の整備により、未利用間伐材等の利用促進を進めます。

「人を育てる」ーとやまの林業を支える担い手の確保・育成ー

- 林業カレッジの研修により期待される役割に応じた人材の育成を図ります。
 - ① 路網計画（低コスト作業路を含む）や長伐期施業計画、さらには森林収支計画などの総合的な広域プランを立てることのできる人材（森づくりプロデューサー）の育成
 - ② 低コスト作業道の開設など、県産材の低コスト生産を担う技術者の育成
 - ③ 民間事業者に対する技術的指導
- 低コスト生産や素材生産を担う人材の育成を緊急に図ります。

[平成 25 年度に講じた施策]

- 富山県林業カレッジの研修による人材の育成
 - a 路網計画や森林収支計画などの総合的な広域プランを作成できる技術者を養成しました。

【実績】

 - ・研修期間 10 日間、5 名養成
 - b 作業地の状況に応じた簡易で耐久性のある低コストな作業道を開設する技術者を養成しました。

【実績】

 - ・研修期間 5 日間、4 名養成
 - c 高性能林業機械のメンテナンス技術の習得や高度で熟達した機械操作技術の研修を実施しました。

【実績】

 - ・研修期間 4 日間、6 名受講
 - d 架線集材など高度な林業現場に従事する際に必要な技能習得のための研修を実施しました。

【実績】

 - ・研修期間 9 日間、5 名受講
 - e 林業への就業を支援する講習を実施しました。

【実績】

 - ・講習期間 19 日間、17 名受講
 - f 林業に必要な基本的な知識・技能等の習得や作業班長等に必要知識・技能等の習得研修を段階的かつ体系的に実施しました。

【実績】

 - ・フォストリカー（林業作業士） 1 年次～3 年次 85 日間 27 名受講
 - ・フォストリガー（現場管理責任者） 17 日間 2 名受講
- 低コスト生産や素材生産を担う人材の緊急育成

森林施業プランナーや素材生産技能者の養成など、「森林整備・林業再生基金」を活用して支援しました。

【実績】

 - ・森林施業プランナーの緊急育成 個別指導 1 事業者、育成研修 7 名受講
 - ・素材生産を低コストで行える人材の緊急育成 講習参加支援 171 名受講

低コスト作業道のルート選定実習



高性能林業機械のメンテナンス実習



[平成 26 年度に講じる施策]

- 期待される役割に応じた人材の育成

県産材の低コスト生産を担う技術者の育成研修など、引き続き富山県林業カレッジ研修への支援を実施します。
- 低コスト生産や素材生産を担う人材の緊急育成

「森林整備・林業再生基金」を活用し、森林施業プランナーや素材生産技能者を緊急に養成します。さらに、先進林業地への派遣研修や安全衛生規則の改正により必要となる特別教育の受講等を支援します。
- 素材生産を担う林業事業者の経営基盤の強化

森林組合と民間事業者が協力・連携した伐採を進める取組みに支援します。

「山を守る」－森林を支える山村の振興と森林の適正な管理と保全－

[平成 25 年度に講じた施策]

●山のみち地域づくり交付金事業の取組み

森林整備の促進や山村地域における生活環境の改善を図るため、地域の骨格的な林道となる「山のみち」を整備しました。

【実績】

- ・路線ごとの開設延長

宮崎・蛭谷線	(0.6) km
福平・東城線	0.3(0.4) km
有峰線	0.3(0.3) km
大沢野・八尾線	0.2(0.1) km
上平・福光線	1.5(1.2) km
計	2.3(2.6) km ():未完成延長

●保安林の適正な管理

- ・公益上必要な森林について保安林に指定しました。
- ・保安林の管理を強化するため、保安林標識の新設や交換を県内 66 箇所で行いました。

【実績】保安林種ごとの指定面積

- ・水源かん養保安林 24.8 ha
- ・土砂流出防備保安林 31.1 ha
- ・土砂崩壊防備保安林 3.0 ha 計 58.9 ha

●森林病害虫に対する適切な防除の実施

- ・海岸保安林など保全すべき松林を松くい虫被害から守るため薬剤の地上散布や伐倒駆除及び樹幹注入を実施しました。
- ・カシノナガキクイムシによる被害の拡大を防ぐため、伐倒駆除や樹幹注入に取り組みました。

【実績】

- ・松くい虫対策

薬剤地上散布	2市	21 ha
伐倒駆除	10市町	1,322 m ²
(治山事業による伐採 704 m ² を含む)		
樹幹注入	9市町	13,428 本 (薬剤本数)
- ・カシノナガキクイムシ対策

伐倒駆除	3市	21 m ²
樹幹注入	6市町	2,804 本 (薬剤本数)

●松くい虫被害対策の重点的な取組み

これまで被害が確認されていなかった地区での被害発生や被害エリアの拡大に対応するため、森林病害虫等防除法第7条の5に基づく「高度公益機能森林」の区域を追加や拡大の見直しを行いました。

8地区 93ha → 12地区 148ha

○松くい虫及びナラ枯れ被害材積の推移

松くい虫被害は平成 24 年から増加傾向を示す一方、ナラ枯れ被害は平成 21 年をピークに減少しています。

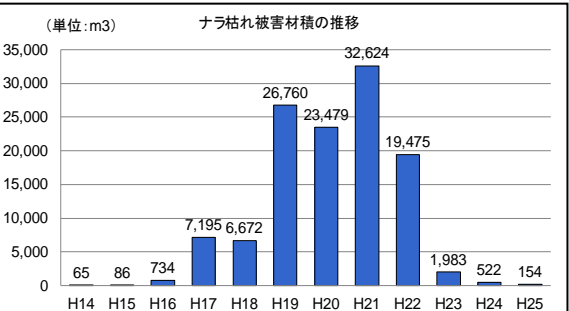
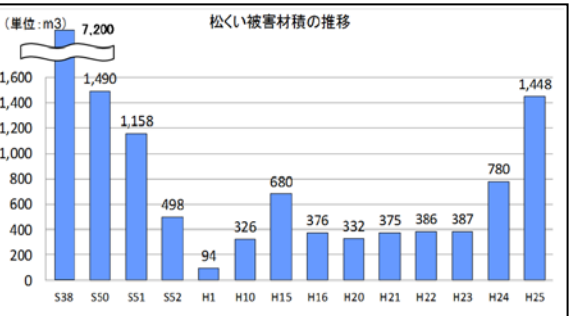
材のストックや運搬に利用される林道



雪崩から集落を守るなだれ防止保安林



松くい虫対策（樹幹注入）



● 災害に強い森林づくりの推進

台風・梅雨等の集中豪雨に起因した山地災害や、東日本大震災を教訓とした地震や津波等から県民の生命・財産を保全するため、災害に強い森林づくりを目指し治山施設の整備を進めました。

【実績】

- ・ 治山事業（南砺市他11市町 55箇所）

災害に強い森林づくり（南砺市大鋸屋）



● 水源の森林づくりの推進

県民生活に安定的な水を供給するため、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、本数調整伐等の森林整備を実施しました。

【実績】

- ・ 水源地域整備事業（南砺市他1町 4箇所）

同上（魚津市長引野）



● 山地災害危険地区の整備の推進

災害防止のため、治山施設の設置と周辺森林の整備等を一体的に実施しました。

【実績】

- ・ 復旧治山事業（富山市他4市 9箇所）
- ・ 予防治山事業（魚津市他5市町12箇所）
- ・ 地域防災対策総合治山事業（朝日町 1箇所）

● 雪害防止対策の推進

なだれ防止林の維持・造成に努めるとともに、なだれ危険箇所に予防柵等を設置し、防止対策を実施しました。

【実績】

- ・ なだれ防止林造成事業（南砺市 1箇所）

海岸保全対策の推進（入善海岸）



● 海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、高潮等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成及び保育等の維持管理を実施しました。

【実績】

- ・ 海岸防災林造成事業（入善町 3箇所）

[平成26年度に講じる施策]

● 山のみち地域づくり交付金事業への取組み

路線毎に重点整備区間を設定し、予算の集中化により、事業効果の早期実現に努めます。

● 森林病虫害に対する適切な防除の実施

カシノナガキクイムシや松くい虫の被害拡大を防止するため、引き続き被害木の伐倒駆除や保全すべき樹木への薬剤注入等を実施します。

● 災害に強い山づくりの推進等

- ① 山地災害危険情報を住民へ周知し、住民の安全確保を図ります。
- ② 治山施設情報を活用し既存治山施設の適切な管理による豪雨時等の被害軽減に努めます。
- ③ 保安林等調査員による巡回を定期的に行い、違法伐採・開発の未然防止に努めます。

● 原木しいたけ再生回復に向けた取組み

安心・安全な原木しいたけの生産振興を図るため、原木しいたけの販路拡大に向けた活動や、原木等の生産資材の導入を支援します。

IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と平成 25 年度実績

区分	指標番号	指標名	単位	基準年	実績	目標	
				H23	H25	中間目標 (H28)	終期目標 (H33)
森を活かす	1	里山林の整備面積（累計）	ha	1,296	1,793	2,600	3,900
	2	混交林の整備面積（累計）	ha	693	1,006	1,500	2,100
	3	実のなる木の植栽面積（累計）	ha	—	28.0	50	100
	4	森林経営計画策定面積（累計）	ha	—	26,737	25,000	35,000
	5	間伐実施面積（累計）	ha	27,219	30,518	36,000	45,000
	6	優良無花粉スギ植栽面積（累計）	ha	—	4.2	40	120
	7	林内路網密度	m/ha	28.7	29.9	32.9	36.8
木を使う	8	県産材素材生産量	千m ³	63	60	100	120
	9	製材品出荷量に占める人工乾燥材の割合	%	41	51	50	50
	10	公共建築物等の木造率	%	13	11	20	25
人を育てる	11	林業就業者	人	489	520	500	500
	12	認定森林施業プランナー数	人	—	17	18	24
	13	素材生産を担う現場技能者数	人	6	29	66	90
	14	認定事業体のうち民間事業体数	事業体	3	7	6	10
	15	農林水産公社分収造林事業における分収比率等契約変更件数割合	%	54.5	71.2	100	—
	16	研究の実用化件数（H19以降累計）	件	11	17	20	30
	17	県民参加による森づくりの年間参加延べ人数	人	10,775	11,270	12,000	13,000
	18	森の寺子屋の年間開催回数	回	95	114	115	130
山を守る	19	保安林指定面積	ha	92,072	92,379	92,700	93,200
	20	山地災害危険地区着手数	箇所	1,358	1,392	1,389	1,419
	21	なだれ危険箇所における整備箇所数	箇所	203	206	208	213
	22	海岸防災林整備延長	m	5,028	5,765	6,178	6,700
	23	年間きのこ生産量	t	3,435	3,404	3,750	4,150

V 平成25年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
平成25年	
4月21日	とやまの森づくりボランティア交流会〔魚津市坪野〕
4月25日	富山県水と緑の森づくり会議
5月24日	第14回とやま森の祭典〔滑川市 滑川市スポーツ・健康の森公園〕
〃	県民参加の森づくりフェア〔同上〕
7月 7日	飛越源流の森づくり（夏）〔岐阜県飛騨市〕
7月29日～31日	花とみどりの少年団体験学習〔立山町 立山青少年自然の家〕
8月 1日	草刈り十字軍入山式〔富山市 富岩運河環水公園〕
8月 6日	山のみち 大沢野・八尾線【上黒瀬・上笹原区間】開通式
8月 9日	富山県森林・山村多面的機能推進協議会設立総会
8月12日	花とみどりの少年団リーダー研修〔富山市 呉羽青少年自然の家〕
8月23日	富山県木造公共建築物等推進会議
8月26日	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会
9月14日	こどもの城づくり「森の見学会」〔砺波市 砺波青少年自然の家〕
9月15日	とやまの森づくりボランティアの集い〔氷見市柳田〕
10月 1日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第1回）
10月 4日	富山県森林審議会森づくり部会
10月19、20日	住まい博富山130〔富山市 テクノホール〕
10月20日	飛越源流の森づくり（秋）〔岐阜県高山市〕
10月26日	かぐや姫の里の集い〔富山市西金屋〕
10月28日	富山県林業用優良種苗需給調整協議会
11月 2日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔砺波市 県民公園頼成の森〕
11月 3日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔立山町 林業普及センター〕
11月 3日	こどもの城づくり「引渡式」〔富山市 総曲輪グランドプラザ〕
11月 6日	富山県木造公共建築物等推進会議建築部会、木造公共建築物推進セミナー
12月20日	富山県森林審議会森林保全部会
〃	富山県森林審議会総会
平成26年	
1月26日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔射水市 太閤山ランド〕
2月 3日	平成25年度林業普及指導職員活動成果発表会
2月21日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第2回）
2月26日	富山県木造公共建築物等推進会議土木部会
3月 1日	とやまの竹資源ネットワーク講習会〔射水市 大門総合会館〕
3月 7日	とやまの森づくりサポートセンター懇話会〔富山市 市町村会館〕
3月 9日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔富山市 婦中ふれあい館〕
3月24日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第3回）
3月25日	富山県林業用優良種苗需給調整協議会

お問い合わせ先 富山県森林政策課

〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL(076)444-3385

富山県森林・林業振興計画「改訂版」は下記からダウンロードできます。

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/kj00006992.html